



Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

会長 今井 武彦
副会長 森本 晴生
直前会長 城井 廣邦

2020年7月～2021年6月
国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア会長主題 「変化をもたらそう」
東日本区理事主題 「変化をたのしもう！」
東新部部長主題 「友情の絆を強めYMCAを支えよう」

書記 鈴木 健彦
会計 高津 達夫
担当主事 星野 太郎

2020年 9月本例会 (703回) (強調月間 : ユース/STEP/YEEP/VIA)

今月の聖句

兄弟のような愛情で互いに慈しみ、
進んで互いに尊敬しなさい。
(ローマ信徒への手紙12-10)
Love one another with brotherly affection;
Outdo one another in showing honor.

東新部ハイブリッド部大会

Zoomによるオンライン大会&東京YMCA東陽町センター
日時 : 2020年10月10日(土) 14:00~16:30

9月本例会

日時 2020年9月15日(火) 18:00~20:00
場所 東京YMCA東陽町センターYMCAホール
会費 1,500円

出欠は9月11日(金)までに高津会計までお知らせください。

9月 ユース/STEP/YEEP/YIA について

ユース:若い人達の育成。YMCAとワイズの根幹
STEP:ユース海外短期交流プログラム
YEEP:ワイズメンの子弟の高校留学生事業
YIA :若者のワイズメンズクラブ活動への参画・活動
(鈴木 記)

HAPPY BIRTHDAY

9日 神保伊和雄 22日 今井 武彦
結婚記念日おめでとう
該当者なし

9月本例会 プログラム

受付	高津 達夫
司会	長谷川正雄
開会点鐘	会長 今井 武彦
ワイズソング	一同
ゲスト・ビジター紹介	司会
今月の聖句・感謝	神保伊和雄
楽しい食事	
卓話 「BFアフリカ諸国訪問記」	東京クラブ 比奈地康晴
強調月間アピール	神保伊和雄
ハッピーバースデー・結婚記念日	司会
スマイル	土井 宏二
諸報告	
閉会挨拶	副会長 森本 晴生
閉会点鐘	会長 今井 武彦

2020年 8月の記録 (*累計は期初からの24累計)

会員出席状況		メーキャップ記録	スマイル	9,500円
正会員	11名	出席(メネット)	0名	BFポイント 現金累計
功労会員	1名	出席(コメント)	0名	切手累計
在籍者数	12名	出席(ゲスト)	2名	0
出席(正会員)	8名	出席(ビジター)	0名	リングプル 累計
出席(功労会員)	0名	例会出席総数	10名	0 Kg
		8月出席率	8/11 73%	むかで基金 今月分
				9,500円

会費振込先 みずほ銀行 亀戸支店 (普通) 3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

8 月 本 例 会 報 告

2020年8月の本例会は、8月18日(火)18:00~20:00 東京YMCA東陽町センターで開かれました。今年春からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、東京YMCA8月のプログラム「野尻学荘」が中止になったのに伴い、「2020野尻ファミリーキャンプ」も中止となり、例会場を東京での開催となりました。

司会は、神保伊和雄君が担当。今井武彦会長の開会点鐘、ワイズソングを唄いました。ゲストは本多謙氏(元メンバー)と、伊丹一之君の裁断教室の木山和慶氏(広島でYMCAキャンプに参加経験者)の2人。今月の聖句と開会の祈りは高津達夫君。つづいて美味しい弁当のディナーを楽しみました。



献です。つづいて、むかでクラブから2020年度野尻キャンプへの献金、同野尻学荘への献金が星野太郎主事に贈呈されました【写真右】。

8月特別プログラム『野尻学荘・野尻ファミリーキャンプの思い出』を進行役星野主事で行いました。

東京YMCA野尻キャンプは、1931(昭和6)年、小林弥太郎氏の財的拠出で、長野県野尻湖畔桐久保に開かれました。そして翌1932(昭和7)年、第1回野尻学荘が、5週間、総勢44名(ボーイズ24名)で開催されました。男子中高生の長期キャンプとしては、今も継続している日本最古の歴史あるプログラムの一つです。太平洋戦争での数年の空白がありましたが、今年(2020年)は85回目でしたが、コロナ禍で中止となってしまいました。2020年はYMCAの組織教育キャンプ100周年記念の年でした。第1回から第80回までの参加者総数は6097名と多くの参加者と多方面からの支援で、85年以上継続してきました。2035年は「野尻学荘」100回記念を迎えます。

東京むかでワイズメンズクラブは、1961年のクラブチャーター(創設)以来、東京YMCA野尻キャンプと野尻学荘を支援してきました。当クラブの現メンバー、元メンバー、物故メンバーには、ボーイズ参加者、キャンプ各種リーダーとしてキャンプ「野尻学荘」を見守り、支えました。当クラブは、1990年から毎夏「野尻ファミリーキャンプ」を開催し、

食後、まず2019-2020年度、東日本区表彰の伊丹一之君への伝達式が行われました【写真左】。表彰は会員増強の一つ、「change! 2022」への貢



皆で東京YMCA野尻キャンプと野尻学荘を正面又は側面から支援しています。

各自の「思い出」は多方面に及び、共に共通していることは、以下に集約されます。

第1に、野尻キャンプの自然環境のすばらしさにあります。野尻湖畔に沿った桐久保の森林樹木の自然の中に、野尻湖を通して黒姫山を望み、北国街道が通る歴史ある場所です。その素晴らしさは、故富岡正男氏作詞作曲の「美しい湖水」に歌い上げられています。自然に富んだ一周16~17kmの野尻湖は、適度なハイキングコースで、みんなで歩く楽しみの一つです。

第2に、キャンプ場はメインホール、キツツキハウス、複数のキャビン、湖護岸を利用した水泳プール、ヨット、ボート、ビッグカヌー、洋弓場等が整備され、長期期間でもボーイズ達を満足させる設備備品が整えられています。長谷川正男君設計の「むかでキャビン」は黙想できるキャビンとして貴重な存在です。

第3に、比較的余裕のある中高生(ボーイズ)を集め、ボーイズ達の成長を基本にプログラムが企画されています。キャンプ理念「限りなき成長」という言葉に示すように無限の機会と可能性をボーイズに提供しています。それによって、日本社会に多くのリーダーを輩出しています。その根底には、ボーイズ達の限らない成長を願って野尻学荘に送り出した保護者がいます。多くの保護者の方々がYMCAのキャンプ理念を理解し後押しがあった。

第4に、スタッフ、リーダーが良く練れていて、連携のすばらしさと、個性の豊さと、良く訓練されています。ボーイズ達のキャンププログラムは、リーダー達によってきめ細かく指導されます。城井廣邦君作成の水泳の泳ぎ方マニュアル。土井宏二君のキャビンリーダーのきめ細かい指導方法。リーダーによって実体験と仲間、自然がそこにあります。野尻の大自然の中で仲間やリーダーと共にボーイズ一人ひとりが育てられます。

第5に、キャンプ生活は、世間より1時間早い「野尻タイム」と、楽しく唄う「トミソング」と、メインホールからの「行動チャイム」で、キャンプ生活を楽しく盛り上げます。野尻タイムは早寝早起きの大切さとボーイズの体調管理です。トミソングの一つ「美しい湖水」に歌い上げられた、「新しい感激に満ちた野尻」でのキャンプは参加仲間達との生活を通して若者の魂を育ててきました。一般のキャンプソングと併せて、野尻の環境とキャンプ生活の流れに沿った多数の歌が富岡先生によって創作され、プログラムに合せ、今も楽しく歌われます。

出席者:今井、伊丹、城井、神保、高津、土井、長谷川、星野

ゲスト:本多謙(元メンバー)、木山和慶(伊丹君紹介)

(敬称略) (高津 記)

9月例会卓話者プロフィール



比奈地 康晴 君(東京クラブ)

1947年静岡県生まれ。国際基督教大学大学院修了後、米国国務省フルブライトプログラムで米国大学院に研究留学。帰国後文部科学省所管の財団法人ユネスコ・アジア文化センターに勤務し、主にユネスコの文化領域活動のアジア太平洋地域での展開支援に従事。その後、埼玉大学国際交流センターに異動し、留学生支援、交換留学プログラムの実施等を担当。埼玉大学退職後東京クラブに入会。Y's歴7年。

「川口こども食堂」近況報告

川口こども食堂は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、子供たちが密集するのを避けるため中止しています。代わりに食堂側が集めた食材を、食堂に来られていた母子家庭に直接配布しています。配る食材は、皆様のご支援或いは集めることのできた多種多様な食材です。今回の配布食材としては、ウインナー巻、タピオカ、ビスケットなど。食材の量にもよりますが、当面1ヵ月に2回の目途で、車に積載して、約20軒への配布です。先月までは、大口の提供がありましたが、今月は、集まりが少ないのが現状です。(鈴木 記)

巣籠(すごもり)実践記報告

新型コロナウイルスに思う

今回の感染症に危機感を感ずるのは、次のような理由によると思われる。

1. 無症状の人や発症前の人からの感染がある。
2. 重症化が急速で重症化すると症状が重い。
3. 色々な症例を引き起こす
4. 人によっては重い後遺症が出る。
5. 高齢者は感染すると、重症化リスクが非常に高い。

以上の結果から、普段の生活の中で感染した人が近くにいても知ることができない。そのため食事に行く、音楽会に行く、遊園地に行く等の普段の行動に対しても抑制される。または自分は大丈夫と無自覚に行動すれば感染してさらなる感染を拡大してしまう。さらにもし自分が感染した場合、自分の身近な人にうつすのではないかという恐れもあり、ますます行動に制限がかかる。ではどうなっていれば、もう少し自由になるのだろうか。

勿論周囲に感染者がいないと確信できれば、買物でも、遊びでも躊躇なくできる。ではその状態に近付けるのにはどうすればいいのか？

TVでPCR検査の拡大を今も言っているのは朝のモーニングショーである。なるべく広く誰でもいつでも何度でもPCR検査が抗原検査を実施し、陽性者を見つけ、陽性者は隠性になるまで隔離する。このようにして感染している人を減らすべきだと主張している。

これに対して政府の分科会の人や一部の人は次のような異をとなえている。

1. PCR 検査で陽性者であっても陰性と検査結果がなることがある。
2. 全員に PCR 検査を実施できない。
3. PCR 検査で陰性であっても、次には感染して陽性となるかもしれない

だから症状がでている人と、その周りだけにPCR検査をするしかない

確かに全員に一度にPCR検査ができなくても、見逃す陽性者がいても、検査した後に感染する人がいても、その時点での何人かの陽性者を隔離出来れば感染源は確実に減っていく。何もしなければ現時点での感染者と新たな感染者で感染者が減る要因はない。だから漸近的にでも陽性者を減らしていければ、それは社会の安全感となり、普段の生活に近づくことになる。モーニングショーが言うように、この方法が一番あがりと思う。

(外出自粛で穴倉生活の鈴木健彦 記)

8月第二例会報告

8月25日(火)午後6時より第二例会を東京YMCA東陽町センターYMCAホールで開催。

主な協議、確認事項は下記の通りです。

1. 9月号ブリティッシュ
卓話者(比奈地康晴氏・BF代表)の確認
原稿分担・手配、原稿締め切り日、印刷日の確認
2. 第24回東新部ハイブリッド部大会(10/10)
ZoomによるWeb大会となる。
各自Web会議をマスターして部大会に参加しよう。
3. クラブ会長ヒアリング(Change! 2022)の検討
質問項目について各自メンバーの意見を今井会長がまとめて回答
4. 東日本区代議員会
8月29日 Web会議(今井会長参加) (高津 記)
出席者:今井、伊丹、神保、高津、長谷川、星野

会長通信

8月は、猛暑・熱中症とコロナ感染拡大のひと月でした。我が家の近所の小中学生の夏休みは、2週間と大分短い休みとなりました。例年、我家の前の公園での「ラジオ体

東京YMCAニュース

◆YMCAチャリティーウォーク2020開催！！

恒例のチャリティーランは、障がいのある子どもたちの支援を目的とした駅伝大会ですが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため「チャリティーウォーク」に変更して開催します。期間中それぞれ歩いて歩数を競いSNS上でアピールします。

チームとしての参加が難しくても、ぜひ個人として「プレイベント」へご参加ください。参加費1,500円が障がい児支援プログラムへ寄付されます。「プレイベント」は期間中に歩いた歩数で順位を競います。スマホを使って毎日リアルタイムで自分の歩数や順位が確認できます。それだけでも楽しめますが、消費カロリー、距離、活動時間まで確認できます。

楽しみながら健康増進と社会貢献がはかれる画期的な企画です。ぜひぜひご参加ください！

【期間】2020年10月24日（土）～11月1日（日）

9日間

※個人で参加できる「プレイベント」は
10/17～23 7日間（1人1,500円）

【参加費】1チーム10万円 ※1チーム6～20人

詳細は東京YMCA ホームページで！！（星野 記）

8月会計報告他

1. 月間収入・支出合計 期間8/1～8/31

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	154,000円	13,360円
活動基金部	9,500円	245,892円

経常収入項目：年会費（4名）、例会参加費

経常支出項目：例会弁当、通信切手

活動基金収入項目：例会スマイル

活動基金支出項目：献金(野尻キャンプ・野尻学荘)、

区費(前)、部費(前)、YMCA使用料、子ども食堂

(高津 記)

2. リングプル 8月 預かり

協力者名	重量	協力者名	重量
斎藤昭七 G	75.0kg	今月合計	150.2kg

訂正：7月号「今月合計」の数値欄は「75.2kg」に修正。

(神保 記)

編集後記

世の中、コロナウイルストンネルの暗闇で、政治も医療も日常生活も手探りの動きとなっています。「暗闇」「待つ」「活動」がキーワード。暗闇の先には必ず光あります。「光に向かって歩む」。コロナと共に生き、コロナ後を考え、「活動」する智恵で決まるようです。（高津 記）

操の集い」なく、静かな夏休みでした。そして、マスクを離せない生活にも慣れてきました。

また、今年の8月は、先の戦争終戦75周年の節目の夏でもありました。テレビ・新聞では連日、記念の番組・記事やテレビドラマが放送されていました。広島・長崎の原爆忌、終戦記念日式典にはコロナのために、出席者数を大幅に削減された記念会でした。しかし、これらの放送を見て、二度と日本は戦争をしないといけないの思いを持った方が、多かったのではないのでしょうか。

それと同時に、若い人たちに、「戦争の悲惨さを伝えなくては」との思いに至られました。

しかし、現実の世界を見回すと、中近東・アフリカ諸国の中では、内戦に明け暮れている国々があります。

これらの内戦によって、その国の国民、特に社会的弱者たる女性・子どもたちの上に危険が常に迫っております。私たちは、これらの国々での争いが、一刻も早く終わることを祈らずにはいられません。改めて、私たちは、何か、この内戦の中を生きる人たちに手を差し延べることができないだろうか？とも考えます。

さて、8月のむかでクラブ本例会では、野尻湖・野尻学荘・野尻ファミリーキャンプについて出席者の皆様から楽しい・びっくり・さすが・というような思い出話や今後のキャンプについて語られました。私たちのクラブとしての進むべき道を再確認するときに与えられ、感謝です。

第2例会では、東新部からの「クラブ会長ヒアリング」のアンケートについて協議しました。特に、例会スタイルを「ライブとリモートの同時展開」を目指すことで一致しました。多くのメンバーが、未経験の分野に挑戦することになりました。（今井 記）

< 9月の予定 >

1日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会 (16:00～)

5日(土) 東京多摩みなみ・9月本例会(ウェブ例会)

8日(火) 東京・9月本例会

10日(木) 東京センテニアル・9月本例会

14日(月) 東京町田コスモス・9月本例会

15日(火) 東京むかで・9月本例会(18:00～20:00)

16日(水) 東京町田スマイリング・9月本例会

18日(金) 東京世田谷・9月本例会日

23日(水) 東京むかで・第二例会(18:00～)

< 10月以降の予定 >

6日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会 (16:00～)

10日(土) 東新部部大会(14:00～16:30)

20日(火) 東京むかで・10月本例会(18:00～20:00)

27日(火) 東京むかで・第二例会(18:00～)